

# 春の祭典

H・アール・カオス公演  
c/w 新作「タイトル未定」



ART CHAOS

2005年10月8日[土] (開場 18:30)  
19:00開演

高知県立美術館ホール

構成・演出・振付 — 大島 早紀子

出演 — 白河 直子 木戸 紫乃・小林 史佳・斉木 香里・野村 真弓



# H・アール・カオス公演

# 春の祭典

c/w 新作「タイトル未定」

2005年10月8日[土] 19:00開演(開場:18:30)

作家・舞踊批評家

アフタートーク 大島早紀子 × 乗越たかお

構成・演出・振付 **大島 早紀子**

出演 **白河 直子 木戸 紫乃・小林 史佳・斉木 香里・野村 真弓**

作曲(春の祭典) **イーゴリ・ストラヴィンスキー**

### スタッフ

照明 笠原俊幸 舞台監督 北條孝 音響 友部秋一 空間美術 H・アール・カオス 宣伝写真 松山悦子 宣伝美術 小田善久 制作 柏雅弘

主催 有限会社東京アートファクトリー 高知県立美術館(高知県文化財団) 後援 高知新聞社・RKC高知放送・KUTVテレビ高知・NHK高知放送局・エフエム高知・KSSさんさんテレビ

平成17年度文化庁芸術創造活動重点支援事業

### チケット料金

全席指定 4,000円(当日4,500円)

学生割引 2,000円(先着20名、前売のみ)高知県立美術館ミュージアムショップのみで取扱い

チケット発売日 平成17年8月4日(木)

※身体障害者手帳、療育手帳、障害者手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳所持者とその介護者1名は3割引です。美術館ミュージアムショップ、県民文化ホールで取扱います。

※電話予約 受付電話番号/高知県文化財団088-866-8006

### チケット取扱

高知県立美術館ミュージアムショップ 088-866-8118 高知県立県民文化ホール 088-824-5321 高新プレイガイド 088-825-4335 高知市文化プラザ 088-883-5052

高知大丸プレイガイド 088-825-2191 DUKESHOP高知 088-825-2505 さんのすけプラザ 088-871-0833

### お問い合わせ

高知県立美術館 〒781-8123 高知市高須353-2 TEL.088-866-8000 FAX.088-866-8008

H・アール・カオス 〒155-0033 東京都世田谷区代田4-2-17 TEL.03-5301-0866 FAX.03-5301-0868



### H・アール・カオス

H.ART CHAOS (えいち・あーる・かおす)

H・アール・カオスは、演出・振付家の大島早紀子とダンサー白河直子により設立。独自の美意識と哲学に支えられた大島の空間感覚溢れる作品と、衝撃的な天才ダンサー白河の究極の身体造形とにより、国内外で圧倒的支持を集めている。

日本のトップダンスカンパニーとして、海外フェスティバルからの招聘も数多く、国内外の様々な都市で公演を実施している。2000年には「秘密クラブ...浮遊する天使たち2000」の北米ツアーでNYタイムズが選ぶ同年のダンス・オブ・ザ・イヤーに選ばれたほか、第29回・第34回舞踊批評家協会賞大賞、千年文化芸術祭優秀作品賞、第1回朝日舞台芸術賞、第25回ニムラ舞踊賞など国内の受賞も多数、白河は2004年に文化庁芸術選奨文部科学大臣新人賞も受賞している。

今回の演目である「春の祭典」は1995年に東京で発表以降、大阪、名古屋、淡路島、宮崎、上越、ワシントンDC、ピッツバーグ、シアトル、トロント、オタワ、モンリオール、ヴァンクーバー、デュッセルドルフ、リンツ、ソウル、シンガポール、モスクワ、サンクトペテルブルグ、ヘルシンキ、ワルシャワ等の各都市を廻り、ゆく先々で大絶賛を浴びている。愛知県芸術劇場大ホールと東京文化会館大ホールではコンテンポラリーダンスとしては異例とも言える100名のフルオーケストラ演奏で上演したほか、淡路花博オープニングでの屋外公演等、2000席を超える大劇場でも数多く上演している。97年の北米ツアーではトロント、モンリオール、ピッツバーグのそれぞれの都市で年間最優秀作品に選出されたカンパニー代表作である。

1997.11.19 トロント日刊紙(カナダ) THE TORONTO STAR by William Litter

「観客は飛び上がった！」(アンコールで)

ニジンスキーによって歴史的に高い論議をもって受け継がれる「春の祭典」は今日までマクミラン、モーリス・ベジャールという成功者をもたらした。そしてここにはっきりと力をもってYESといえる。大島の「春の祭典」は歴史に残る高尚なもの、目標をもたれる作品なのである。何というパフォーマンスなのだ。大島の「春の祭典」は視覚的な演出も含めてストラヴィンスキーの根本的な噴火した力強い作曲のエネルギーを、最も引き出しており、これ以上のものはないのではないか。観客が飛び上がったのは意味がないわけではない。

2000.9.15 リンツ日刊紙(オーストリア) Courtesy Oberosterreichische Nachrichten by Silvia Kitzmantel

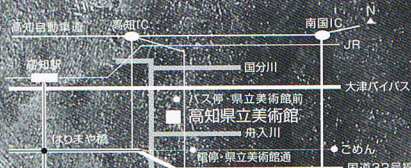
1913年のスキャンダル、2000年の成功

1913年パリで上演されたニジンスキーによる初演は、ひとつのスキャンダルだったが、2000年リンツで上演された大島早紀子による「春の祭典」。それは成功そのものだった。日本の女性ばかりのダンスグループ H.ART CHAOSは、独特のしかも信じられない程作品の奥深くまで入り込んだ手法で「春の犠牲」である主人公に迫った。

2004.3.12 ヘルシンキ日刊紙(フィンランド) Helsingin Sanomat by Auli Rasanen

「春の祭典」では、怒れる5名の女性ダンサーが体现する攻撃性に観客は震撼した。通常ならフィンランド人は終幕後はそそくさと帰途につくのだが、2日とも満席となった今回の公演は、終幕後の盛大な怒りのような拍手喝采と歓声から明らかのように特別であった。舞台からほとぼる強烈なエネルギーに取りつかれた人々は、ストア劇場のロビーに留まり公演について熱く語り合った。

museum hall  
高知県立美術館  
THE MUSEUM OF ART, KOCHI  
〒781-8123 高知市高須353-2 TEL.088-866-8000 FAX.088-866-8008  
http://www.kochi-bunkazaidan.or.jp/museum



こうちコミュニティ・シネマ第9回上映会  
「ベルリン・フィルと子どもたち」

2005年8月20日(土)

<春の祭典>「ダンス編+オーケストラ編」 ①11時 ②16時45分

「ベルリン・フィルと子どもたち」 ①12時45分 ②14時45分 ③18時30分

- 会場 高知県立美術館ホール
- 入場料 前売一般1,500円 当日一般1,800円  
高・中・小・シニア1,000円 LTG会員1,300円
- 主催 こうちコミュニティ・シネマ
- 共催 高知県立美術館(高知県文化財団)

■はりまや橋から土電電車「こめか」(横谷)「文芸朝日」行き15分(高知県立美術館下車徒歩5分)  
■土曜バス「高知駅大」行(高知県立美術館前)下車徒歩5分  
■空港連絡バス「国高須通」下車徒歩10分  
■車・タクシーをご利用の場合はJR高知駅から20分、高知駅西口から5分、高知自動車道高知インターから10分(無料駐車場は普通車1.4台/バス専用10台)